

卓 話

平成 24 年 7 月 31 日

『 ロータリーにおける社会奉仕とは 』

松阪山桜ロータリークラブ 吉田 紘様



初期ロータリーの思考

- 20世紀初頭のシカゴ市は極端な自由競争、金もうけの為なら手段を選ばない。万博後の大不況、ギャングの横行、職業倫理の低下、信頼関係の欠如、悪徳と腐敗の街
- 殺伐とした大都会の中で、お互いに腕権を闘いて、どんなことでも誇り合える友人を作りたいとのポール・ハリスの発想から1905年2月ロータリーが生まれた。
- 1905年1月シカゴ・クラブ定款「親睦の充実」「職業上の利益の向上」が謳われ、会員同士の相互扶助の活性化から互恵取引に発展。
- 1906年4月ドナルド・カーターの入会を機にポール・ハリスは物質的互恵と親睦に限界を感じロータリーの在り方を転換する決断。
- 1909年、25の市民団体をまとめ行政に働きかけ市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所を設立、市民のニーズに応えた。

2012～13年度国際ロータリー第2630地区役員組織表

- 奉仕プロジェクト部門
 - 担当諮問委員 伊達 剛彦 PG
 - アドバイザー 小川 禮司 (関中央)
- 社会奉仕部門委員長 山本 満 隆 (英濃加茂)
- 社会・環境保全委員会 3名
- 職業奉仕部門委員長 飯田 勉 (久居)
- 職業奉仕委員会 4名

社会奉仕理念の構築

- Service above self
- 超私の奉仕
 - 1920年国際大会から採用
 - 弱者に涙して人道的な奉仕活動を実践する
 - ロータリアンだけで商取引を独占するのではなく、他の人たちにも分け与える

ロータリーのモットー Rotary Mottoes

- 超私の奉仕
 - Service Above Self
- 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
 - He profits most who serves best

